



## 令和5年度 東京都立松原高等学校全日課程 学校経営計画

スクール・ミッション		
<p>「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する」を目指し、基礎学力を定着させる授業や近隣大学、地域等、家庭等と連携した健全育成を重視した教育活動を通じて、社会の一員として「知・徳・体」を磨き続け、自分にできることを生かして社会に貢献する人材を育成します。</p>		
<p>目指す学校 ～知性・品格・自律・発信～</p>		
<p>本校の教育目標である「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する。」を実現するため、全ての教育活動を通して、次のような資質・能力をもつ生徒を育成する。</p> <p>(ア) 自己の可能性を追求し続ける個性豊かな人間。</p> <p>(イ) 規範意識に富み、勇気を持って正しく行動できる人間。</p> <p>(ウ) 地域に貢献する姿勢と行動力を身につけ、地域社会に調和し、思いやりの心を持つ人間。</p> <p>これらの実現のために、「スクール・ポリシー」も踏まえた以下の目標を設定し、達成に向けた方策に取り組むことで、「地域に信頼され、中学生に選ばれる学校」を目指す。</p>		
中期的目標と達成に向けた方策 (方策：①～⑥)	今年度の取組目標と達成に向けた具体的方策 (目標：①～⑥／方策：○)	具体的な方策に関する数値目標 (目標：①～⑥)
<p>1 知性と理性を身に付け、自己の在り方や生き方が明確な生徒の育成。</p> <p>① 自己の将来を見通すことのできる学力の育成を行う。(学習指導)</p>	<p>① -1「カリキュラム・ポリシー」を踏まえた、学習指導の充実を図るとともに、三年間を通して生徒の学力を向上させる。</p> <p>○授業規律(チャイム始業、事前準備)を確立した学習指導を行うことで生徒が主体的に学習(主体的・対話的で深い学び等)に取り組む態度を育成する。</p> <p>○家庭学習を前提として、授業内容・方法の改善(一人1台端末やclassi等の活用)を図り、すべての教科で「わかりやすい授業」を展開する。そのために校内での相互授業観察を行い、他校の指導教諭等の研究授業にも積極的に参加する。</p> <p>○生徒の学力向上と学習習慣の定着を図るため、原則、1・2学年全員を対象に年1回の校内での実用英語技能検定を実施する。</p> <p>○読書活動を通じて、生徒の語彙力を増やし知的好奇心を高める。また、授業等で、図書館を活用しながら、小論文や面接等の進路実現につながる思考力・判断力・表現力の向上を図る。</p> <p>○成年年齢引き下げに伴い、在学中から社会の一員として、政治的教養を育む主権者教育を推進する。</p> <p>①-2 生徒の思考力・判断力・表現力の向上を目指す講習や個別指導などを充実させる。</p> <p>○「高大連携事業」を活用した放課後の個別指導、外部教育機関と連携した土曜講習と夏期勉強合宿を実施する。</p>	<p>①-1-1 「学校評価アンケート」での生徒の授業の満足度に関する質問での肯定的な評価を80%以上とする。</p> <p>① -1-2 教科横断的な相互観察や若手教員育成のための研究授業等に年2回以上参加する。2学期(9月)に一人1台端末を活用した授業研究週間を設定する。</p> <p>① -1-3 1年3級60%以上。2年3級及び準2級を合わせて60%以上の取得を目指す。</p> <p>① -1-4 全学年の不読率15%未満とする。ビブリオバトル大会への参加を促す。</p> <p>① -2-1 各学年の土曜講習の各30人以上の登録、70%以上の履修修了を目指す。</p>

<p>② 生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な進路指導を行う。(進路指導)</p> <p>2 主権者として、公共の精神を尊ぶことのできる生徒の育成。</p> <p>③ 特別活動などを通して、他者と共によりよく生きるための資質・能力を向上させる。(特別活動、部活動)</p> <p>④ 基本的な生活習慣の確立と規範意識を高める指導を行う。(生活指導、健康づくり)</p>	<p>○長期休業中等を利用して、教職員による講習・補習などを実施し、学力の定着と伸長を図る。</p> <p>②-1 様々なデータを有効に活用することで、進路指導の充実を図る。</p> <p>○全学年で、定期的に模擬試験を実施し、生徒の学力推移を把握する。</p> <p>○模試分析やケース会議等を活用し、授業改善を図るとともに個別最適な進路指導を推進する。</p> <p>②-2 「グラデュエーション・ポリシー」を踏まえ、意図的・計画的なキャリア教育を行う。</p> <p>○進路指導部が主体となり、各学年と連携し、「進路の手引き」を活用するとともに進路ガイダンス等の進路行事を適切に実施する。</p> <p>○各学年は、計画的な生徒面談、三者面談や保護者会等を実施し、家庭と連携した進路指導を行う。</p> <p>③部活動と学校行事の活性化により、自他を認め合い尊重する意識を高める。</p> <p>○「運動部・文化部ガイドライン」に基づき、体罰のない部活動指導を実施する。</p> <p>○感染症対策を踏まえつつ、活力ある学校づくりを推進するため、運動部・文化部ともに高い目標への指導を行っていく。</p> <p>○体育祭・文化祭を、組織的・計画的に実施し、生徒の主体性を育むとともに、生徒の学校への帰属意識を高める。</p> <p>○地域や大学等のイベントやボランティア活動に参加し、地域に貢献する生徒の活動を支援していく。</p> <p>④-1 「都立高校生活指導指針」に基づく指導により、ルールやマナーを遵守する態度を育てると共に、いじめを根絶する。</p> <p>○時間管理の徹底、遅刻防止、挨拶励行、正しい身だしなみの指導を、全教職員の共通理解に基づき実施し、生徒の基本的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>○学校安全計画を踏まえた防災教育、交通安全教育、薬物乱用防止教育、情報モラル教育を推進する。</p>	<p>① -2-2 長期休業（夏季・冬季・放課後）の講習について、延べ講座数 40 講座、講習時間 200 時間以上、講習等の受講者数を、延べ 650 人以上とする。</p> <p>② -1 中堅以上の大学への現役合格者数を延べ 40 人以上。</p> <p>② -2-1 卒業時の進路決定率を 95%以上とする。</p> <p>③ -2-2 「学校評価アンケート」での生徒の進路指導の満足度に関する質問での肯定的な評価を 80%以上とする。</p> <p>③ -1-1 部活動への加入率を 80%以上とする。</p> <p>④ -1-2 「学校評価アンケート」での生徒の部活動、学校行事の満足度に関する質問での肯定的な評価を 80%以上とする。</p> <p>④ -1-1 年間の遅刻率 8%以下とする。</p> <p>⑤ -1-2 学期末等を利用して、各主講演会等を実施する。</p>
---	---	--

<p>3 地域の期待に応える生徒の育成。</p> <p>⑤地域や都民の要望に基づく教育活動を実現する。 (学校経営・組織体制)</p> <p>⑥生徒・保護者等の要望に合致した、教育活動に関する情報発信を行う。 (募集・広報活動)</p>	<p>④-2 「自殺対策基本法」や「自殺総合対策大綱」に基づく生徒の自殺防止のための指導を行う。</p> <p>○スクールカウンセラーとの連携と、「精神不調アセスメントツール (RAMP S)」の活用により、生命に関わる重大事故の発生を防止する。</p> <p>④-3 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に基づき生徒の健康や体力の向上を目指す。</p> <p>○学校保健計画と学校安全計画等による健康教育 (健康観察、感染症対策) を推進する。</p> <p>○食物アレルギー等の生徒情報を把握し、事故防止に努める。</p> <p>○美化活動や省エネ活動による環境教育を推進する。</p> <p>⑤-1 「東京都教育ビジョン (第4次)」、「未来の東京戦略」に基づく教育の実現を目指す。</p> <p>○各種委員会、校内研修等を円滑に開催し、教職員が協同して自校の教育課題の解決を図る。</p> <p>○デジタル技術を活用した教育の推進を目指す。オンライン授業 (1月) に向けて確実に準備を行う。</p> <p>○体罰や個人情報の紛失等のサービス事故防止に係る取組を計画的に実施していく。</p> <p>⑤-2 「学校における働き方改革推進プラン」に基づく業務の縮減と効率化を推進する。</p> <p>○組織的、計画的な業務遂行を図り、在校時間の縮減に取組み、教職員のライフ・ワーク・バランスを実現する。</p> <p>○ICT、統合型校務支援システム、定期考査採点・分析システムの利活用等を推進し、業務の効率化を実現する。</p> <p>⑥-1 様々な媒体を活用し、本校の教育を広く都民、中学生に発信し、本校の教育活動に対する理解と信頼を促進する。</p> <p>○ホームページとSNSなどを活用し、本校の教育活動の様子や情報を発信する。</p> <p>⑥-2 学校説明会等を必要に応じて実施することで、本校の教育の広報活動を推進する。</p> <p>○学校案内を都内の公立中学校と学習塾へ配布し、「アドミッション・ポリシー」に理解のある生徒の募集に努める。</p> <p>○学校説明会、授業公開等を組織的に実施し、学校PR活動を進める。</p>	<p>④-2 SOSの出し方に関する教育を継続し、生命に関わる重大事故の件数0 (ゼロ) を継続する。</p> <p>④-3 全学年の男女共に、「東京都児童生徒体力運動能力生活運動習慣等調査」の結果を都平均以上とする。</p> <p>⑤-1 各教員が1つ以上のオンラインに対応した教材を開発し、生徒一人1台端末に対応する。</p> <p>⑤-2 月当たりの時間外在校等時間45時間超過の教職員の月平均を10%以下にする。</p> <p>⑥ -1 ホームページとSNSを合わせて年間150回以上更新する。</p> <p>⑥-2-1 推薦に基づく選抜での応募倍率3.0倍以上、学力検査に基づく選抜での応募倍率1.5倍以上とする。</p> <p>⑥-2-2 塾訪問120校以上、学校見学会・説明会等の来場者1350組以上とする。</p>
--	--	---

## スクール・ポリシー

### 1 グラデュエーション・ポリシー

主権者としてとして「知・徳・体」を磨き続け、社会に貢献できる人材となるよう、学校の教育活動全体を通して、以下の資質・能力を育成する。

- ・学びの主体性、知性、理性
- ・健康、コミュニケーション能力
- ・進路実現力
- ・社会性、個性、創造力
- ・自己理解力、他者尊重力

### 2 カリキュラム・ポリシー

以下の資質・能力を生徒が身に付けるために、教科・科目を中心とした学校の教育活動全体で指導を行う、

- ・学びへの主体的な取組を通して、知性や理性。
- ・心身ともに健康なコミュニケーション能力。
- ・志の高い進路実現を目指す能力と、社会へ貢献する能力。
  - ・社会の一員としての自覚を持つための、豊かな個性と創造力。
- ・自己を理解するとともに、他者の人格を尊重する態度。

### 3 アドミッション・ポリシー

教育目標の実現を目指し、自らの可能性を追求するために、本校では以下の生徒を求めている。

- ・学習活動に意欲的に取り組み、粘り強く探究し続ける生徒、
- ・部活動、学校行事、委員会活動などに主体的に取り組み、常に自分を高めようとする生徒。
- ・自分の将来の目標を明確にし、希望する進路の実現に向けて全力で取り組む生徒。
- ・あいさつをする、身だしなみ、時間の厳守など、社会生活での基本的なルールやマナーを守る生徒。
- ・地域や社会に貢献する意欲があり、他者の人格を尊重することのできる生徒。